

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はびじゅに首里城西校 I			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～	令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～	令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援も併設し多機能型として運営していることや、 同法人の事業所が隣接しているため、同学年・異学年・性別など様々なグループ分けをした交流が行いやすい。	・意図的に学年や性別等を揃える、または変えることで、利用者様の発達段階や特性に応じた療育の場になるよう心がけています。 ・同世代、同性（職員も含む）だからこそわかる悩みや本音を表現できる場を定期的に設けています。	・同法人内での交流は頻繁に行えているので、今後は利用者様のご家族（兄弟）や地域などとの関わりも視野に入れて行きたい。
2	・充実した施設設備と周辺環境	・個室が4つ、大きな部屋が2つ、それぞれ男女トイレとは別に多機能トイレがあるなど施設設備が充実している。 ・地域の文化財周辺の散策や公園遊びなども積極的に行っている。 ・人数や活動内容に応じて最適な部屋の選択をしている	・施設内の活動だけでなく、地域のポテンシャル（環境・人材）を活かした活動を計画していく。
3	・HPやSNS等を活用し、活動の様子の登校やイベント情報等の発信を行っている。	・ブログやSNS等の投稿の際は、専門業者も交えて、個人情報等の厳守や分かりやすい投稿を心がけています。	・今後も継続して取り組みながら、職員紹介などの新しい投稿にもチャレンジしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会等の開催、兄弟や地域児童との交流の機会。	・営業日が平日（土・日・祝 定休日）のため、一定数以上の保護者様にお集まりいただける日程を組むことが難しい。	・長期休み期間に保護者会等を開催できないか検討していく。 ・兄妹児や地域児童との交流に関しては、全員参加ではなく、事前調査等を行うなど各保護者様との確認作業を行ってから検討していく。
2	・地域の児童発達支援センターとの連携、スーパーバイズや研修等を受ける機会。	・研修会等に参加したことはあるが、コンスタントに参加することは出来ていなかった。	・今後は早い段階で研修予定等を確認し、可能な限り参加できるように調整する。 ・必要に応じてスーパーバイズや助言等をいただける機会を作る。
3	・学校や自事業所を卒業した後の障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供。	・小学校から中学校へ進学時等は、担任や学年主任、コーディネーターの方々と情報の共有・提供は行っているが、高等学校や就労以降支援事業所への引継ぎを行った経験のある職員が現状少ない。	・利用者様の成長過程を常に共有できるように情報を整理しておく。また、先を見据えて各関係機関との連携強化を行っていく。